

A区分・C区分共通
No.1(実演芸術・メディア芸術)

令和7年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(実演芸術・メディア芸術 共通)

別添	なし
----	----

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	伝統芸能	種目	邦楽
----	------	----	----

応募区分(応募する区分を選択してください。)

応募区分	A区分
------	-----

複数応募の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、応募企画数から除く

複数応募の有無	有	応募総企画数	2企画
---------	---	--------	-----

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しなければ、複数の企画を実施可能
--------------------	----------------------------

文化芸術団体の概要

ふりがな 制作団体名	かぶしきがいしゃあーと・めでいあ・おふいす 株式会社アート・メディア・オフィス	団体ウェブサイトURL	
代表者職・氏名	代表取締役 下田文之		
制作団体所在地	〒 157-0067	最寄り駅(バス停)	成城学園前駅
	東京都世田谷区喜多見6-4-13-201		
電話番号	03-6411-8113		
ふりがな 公演団体名	ほうがくぐるーぶたまてばこ 邦楽グループ「玉手箱」	団体ウェブサイトURL	
代表者職・氏名	代表 清野さおり		
公演団体所在地	〒 266-0034	最寄り駅(バス停)	学園前駅
	千葉県千葉市緑区おゆみ野有吉6-11		
制作団体 設立年月	平成元年4月		
制作団体組織	役員	団体構成員及び加入条件等	
	代表取締役 下田文之	歌手約30名楽器演奏者約45名スタッフ7名。 加入には芸術・音楽大学等の専門機関で研鑽積んだ相当の経験者であることが必要。	
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	事務(制作)専任の担当者 を置く	本事業担当者名	長嶺尋深
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者	長嶺尋深
本応募にかかる連絡先 (メールアドレス)	nagamine@art-media.jp		

<p>制作団体沿革・ 主な受賞歴</p>	<p>平成元年4月に株式会社アート・メディア・オフィスを設立。 同時に劇団ミュージカルプラザを設立して子供のためのオペラ・ミュージカルの公演を全国の小・中・高等学校やホール会館等で実施。 平成4年にコンサート部門として東京子ども音楽館を設立。 以降、クラシック音楽を基礎とした音楽性の高い児童・青少年向けのコンサートを制作し、クラシック、ポップス、邦楽など幅広いジャンルの団体をマネジメントしている。</p> <p>芸術鑑賞会企画提供作品一覧 ■オペラ・ミュージカル部門■ ●モーツァルトのオペラ「魔笛」●新版ミュージカル「オズの魔法使い」 ●こどものための改作オペラ「魔法の笛」●グリム童話のオペレッタ「ヘンゼルとグレーテル」 ●宮澤賢治原作ミュージカル「銀河鉄道の夜」 ●落語の歌芝居「じゅげむ寿限無」●ミュージカルコンサート「トラップ一家合唱団物語」 ■音楽会・コンサート・その他ジャンル部門■ ●オーケストラ教室●みんなの音楽会●マリンバ・ハープ・コンサート ●ラテン・コンサート●金管五重奏と打楽器●ワーク・ショップの手づくり音楽会 ●サウンズプラスコンサート●リコーダー名曲コンサート ●邦楽入門コンサート●中国楽器の音楽会●中国曲技●津軽三味線と和太鼓 ●サウンド・マジック●ワンダーランド●ピーター・フランクル文化講演会 ●その他文化芸術の行事一般の企画制作コンサルタント</p>		
<p>学校等における 公演実績</p>	<p>平成元年の会社設立より令和6年まで36年間で、各ジャンルの学校公演実績あり。 累計約3,000公演以上。 邦楽グループ「玉手箱」の～邦楽入門コンサート～に於いては学校自主公演の他、 山形県米沢市教育委員会、 岐阜県高山市教育委員会、 富山県射水市文化振興財団、 福井県文化振興財団の主催で児童・生徒を対象に実施。 メンバーは全員が東京藝術大学音楽学部邦楽科を卒業後、NHK邦楽技能者育成会等で研鑽を積み各種コンクールでは最優秀賞を受賞している。 テレビ・ラジオの出演や海外公演実績も多数あり。</p>		
<p>特別支援学校等における 公演実績</p>	<p>平成22年度 岐阜県立東濃特別支援学校 平成23年度 北海道鷹栖養護学校 平成24年度 栃木県立足利特別支援学校 平成25年度 奈良県立奈良西養護学校 平成26年度 長崎県立諫早特別支援学校 長崎県立島原特別支援学校 平成27年度 京都市立鳴滝特別支援学校 令和5年度 広島県立尾道特別支援学校 令和6年度 長崎県立佐世保特別支援学校</p>		
<p>参考資料の有無</p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>有</p>	
	<p>※公開資料有の場合URL</p>	<p>https://youtu.be/6u1KLUc97Zl</p>	
	<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>ID:</p>	<p></p>
		<p>PW:</p>	<p></p>

別添	あり
----	----

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 邦楽グループ「玉手箱」】

対象	小学生(低学年)	○	小学生(中学年)	○
	小学生(高学年)	○	中学生	○
企画名	魅力の和楽器体験「邦楽入門コンサート」			
企画のねらい	和楽器を初めて見たり、聴いたり、さわったりして、演奏する体験を通して、より身近に日本の伝統音楽を感じてもらおうことが目的です。 プログラムでは「邦楽のうた」をとりあげ、日本の古くからある音楽を子供たちに伝え、新しい現代の邦楽にも楽しんでいただける体験型コンサートとして企画しております。			
演目概要・演目選択理由	古典から現代までの曲をプログラムに取り入れ、箏・三絃・尺八・琵琶などの演奏楽器の紹介や、曲の解説を分かりやすくお話しして、初めて和楽器の演奏を聞く児童・生徒さんたちにも親しみやすい演目になっております。 また、玉手箱メンバーならではのアンサンブルや独奏も特徴的で楽しい内容です。			
児童・生徒の参加又は体験の形態	参加用の楽器や附属品は実施団体で全て持ち込み、ワークショップで体験した児童・生徒さんと、玉手箱メンバーによる「さくら」の合同演奏をいたします。			
児童・生徒の参加可能人数	本公演	参加・体験人数目安	10～20名(舞台上で共演する児童生徒さん)	
		鑑賞人数目安	特になし	
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>魅力の和楽器体験「邦楽入門コンサート」～日本の音をもとめて、古典から現代への伝統～</p> <p>【プログラム構成(予定)】</p> <p>※開会式</p> <p>1.オープニング～さくら～</p> <p>2.鹿の遠音</p> <p>3.祇園精舎</p> <p>4.ひぐらし</p> <p>5.遊人夢 (休憩)</p> <p>6.合同演奏～さくら～</p> <p>7.七福神</p> <p>8.ワールド・トリップ</p> <p>※閉会式・感想発表・質問コーナー</p> <p style="text-align: right;">公演時間 90 分</p>			
出演者	<p>出演予定者</p> <p>山田流箏曲演奏家●清野さおり●小間夕起子●田中奈央一</p> <p>生田流箏曲演奏家●山本啓代</p> <p>琴古流尺八演奏家●清野樹盟</p> <p>薩摩琵琶演奏家 ●長須与佳</p>			
演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度/名	<p>清野さおり●東京藝術大学卒業。NHK邦楽技能者育成会修了 北海道三曲コンクール児童の部第一位・新曲の部第一位 NHK邦楽オーディション合格 全国邦楽コンクール最優秀賞 文化庁新進芸術家国内研修員 NHK-FM.Eテレ出演</p> <p>小間夕起子●東京藝術大学卒業。NHK邦楽技能者育成会修了 全国邦楽コンクール優秀賞受賞 箏曲組歌・河東節など、 古典音楽の研鑽を積む NHK-FM、日本舞踊公演等出演 小中学校における箏の普及活動に努める</p> <p>田中奈央一●東京藝術大学卒業。NHK邦楽技能者育成会修了 文化庁新進芸術家国内研修員に選出 NHK-Eテレ.FM、 国立劇場主催公演、歌舞伎公演などに出演 平家琵琶 [平家語り研究員]</p> <p>山本啓代●東京藝術大学卒業。NHK邦楽技能者育成会修了 FM-東京、NHK-FM、市川猿之助公演に出演 CD「山本邦山 尺八の魅力」録音 平和堂財団奨励賞受賞</p> <p>清野樹盟●東京藝術大学卒業。北海道三曲コンクール児童の部第二位・尺八の部第一位 在学中人間国宝山口五郎師に 師事 吉幾三、香西かおり公演に出演 NHK-FM.Eテレに出演</p> <p>長須与佳●東京藝術大学卒業。全国邦楽コンクール最優秀賞受賞 和楽器ユニットRin'でデビュー 新作歌舞伎「刀剣乱 舞～月刀剣縁桐～」出演 アニメ『ワンピース』等の劇中音楽に参加</p>			
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含 む	出演者: 6 名	運搬	積載量: 2 t	
	スタッフ: 4 名		車長: 6 m	
	合計: 10 名		台数: 2 台	

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み		無		前日仕込み所要時間		時間程度	
	到着	仕込み		上演	内休憩	撤去	退出	
	午前公演8時 午後公演11時	8時～10時 11時～13時		10時30分～12時 13時30分～15時	10分	60分～70分	13時予定 16時予定	
※本公演時間の目安は、午後、概ね2時間分程度です。								
本公演 実施可能日数目安 ※実施可能時期について は、採択決定後に確認し ます。(大幅な変更は認め られません)	6月		7月		8月		9月	
	21日		14日		5日		20日	
	10月		11月		12月		1月	
	22日		18日		15日		14日	
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。				計		129日	
※採択決定後、図 面等の提出をお願い します。					●玉手箱メンバーと子どもたちが共演して「さくら」を演奏。 ●ワークショップで体験した成果を本公演で発表しましょう。 ●子どもたちの弾く箏は全て実施団体が持ち込みます。		●ステージが狭い体育館では、子どもたちはフロアで箏を演奏します。 ●子どもたちの箏の音が体育館でも良く聴こえるように実施団体のPA装置で音響効果を高めています。	
	三味線は3本の糸が張ってあります。				●箏、十七弦、三味線、尺八、琵琶の楽器解説と演奏に触れていただきます。			
	十七絃は大きい。		尺八は「虚無僧」の祈りの音楽でした。		琵琶を弾きながら「祇園精舎」を歌います。		●「さくら」の合同演奏では、地域の方や先生方も参加して邦楽の魅力を楽しんでいただくこともできます。。	
	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否		該当あり		該当コンテンツ名		演目曲	
	該当事項がある場合		権利者名 JASRAC		許諾確認状況		採択後手続き予定	

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添	なし
----	----

【公演団体名 邦楽グループ「玉手箱」】

ワークショップのねらい	実施団体が用意した体験用の箏、三味線、尺八、に初めて見たり触れたり弾くことで楽器の音色や響きを感じていただき、日本の伝統音楽への興味と理解を深めていただきたいと思います。本公演では～さくらさくら～を「玉手箱」との箏の合同演奏ができるまで丁寧にやさしく指導します。		
児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	1学年程度(小規模校は複数学年対応可)
ワークショップ実施形態及び内容	<p>1. ワークショップの約1か月前に教材、楽譜、準備物等が記載された書類を送付。 ◆事前指導の必要はありませんが、参加する児童生徒さんに配布をお願いいたします。</p> <p>2. 2時間前に学校到着、体験会場に楽器・音響機材を搬入してセッティング。 ◆先生方のお手伝いは必要ありません。</p> <p>3. ワークショップ授業 ◆体験する授業時間につきましては、ご希望に応じて午前午後のいずれも可能です。</p> <p>①講師の紹介 ②楽器や楽譜の解説 ③箏、三味線、尺八の楽器を体験 ④合同演奏曲「さくら」を弾いてみる ⑤本公演で共演希望の児童・生徒さんを選出 ⑥感想発表や質問コーナー</p> <p>4. 本公演の打ち合わせ ◆会場の下見や学校にお願いする準備品、当日のタイムテーブル等の確認します。</p> <p>5. 楽器・音響機材の搬出 ◆約1時間ほどで後片付けをいたします。ゴミ袋は当方で持参してゴミは持ち帰ります。 ●QRコードをスキャンして、ワークショップと合同演奏の様子をご覧ください。</p> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">    </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">     </div>		
その他ワークショップに関する特記事項等	<p>●日本の伝統楽器の演奏は、正しい姿勢で！ 和楽器を演奏する時は正座を基本とします。 日本の文化としての「正座」を体験する良い機会として、無理をせず配慮しながら指導します。</p> <p>●特別支援学校でも事前に担当先生と連絡を取り合い、ご要望に合わせた授業を行っております。 令和5年度に実施した特別支援学校では補聴器を装着している児童さんに合わせ、当方が持参している音響機材とリンクさせ、スムーズな体験授業ができました。</p>		

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添	なし
----	----

本事業への応募理由

【公演団体名 邦楽グループ「玉手箱」】

本事業に対する
取り組み姿勢、および
効果的かつ円滑に実施
するための工夫

①本事業に対する取り組み姿勢

- 邦楽グループ「玉手箱」は、国際的な活躍で知られた邦楽奏者の故高田和子氏が、平成7年に東京藝術大学出身の優秀な若手演奏家を集めて、従来の邦楽界の枠を超えて、**新しい日本の邦楽を世界に、そして日本の子供たちに広めようと結成されました。**
- 2002年、教育現場に和楽器が導入されたとき高田先生は、読売新聞の記事で「日本の伝統音楽を代表する箏や三味線、尺八にも是非この機会に触れてもらいたいと思う。なぜなら、わたしが邦楽を始めたのも小学生の時に聴いた友達の演奏で箏の魅力に目覚めたことがきっかけだったからだ。」と書かれています。
- 以来、邦楽グループ「玉手箱」は、学校における芸術鑑賞会「邦楽入門コンサート」を数多く実施してきました。又、現メンバーは、それぞれの分野で個々に先進的な演奏活動、及び邦楽の指導普及活動をしており、その成果を本事業に活かしております。
- 平成22年度より令和6年度まで巡回公演事業に連続採択され、**全国の小中学校、特別支援学校で210余校で公演を実施。少数精鋭の邦楽グループの小規模校やへき地公演、特別支援学校にも対応できる公演企画として公演実績を積み重ねてきました。**
- 公演を実施するに当たっては学校との連絡を丁寧に行い、それぞれの学校のご要望に沿った対応を心がけております。
- 本事業を通して、全国の多くの子供たちに「本物の日本の良き音色」や「伝統文化の大切さ」を体験の中で感じてもらい、日本の伝統的芸術性を養う一環になるよう取り組んでおります。

②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫

【学校との連絡調整について】

- ◆事業事務局より実施校と制作団体との直接連絡OKの許可が下りましたら、当方の担当者が校長先生と事業ご担当の先生へお電話にてご挨拶をさせていただきます。
- ◆ご不明点やご希望等、遠慮なくご相談いただけますよう丁寧に対応いたします。
- ◆学校の行事日程を優先して、ワークショップの日程調整を行います。
- ◆本事業が円滑に進行するようにFAXやメールにてワークショップと本公演の必要項目を記載した公演確認書を各学校に配布します。

【対象児童・生徒さんへの工夫】

- ◆より多くの児童・生徒がワークショップや合同演奏に参加できるように、**実施団体が多くの和楽器を持ち込みます。**
- ◆ワークショップで使用する教材や箏・三絃の楽譜を作成して、事前に郵送いたします。
- ◆学校巡回公演でのワークショップと合同演奏の様子の分かる動画を配信します。
- ◆実施校のご意向に沿ったワークショップや本公演になるよう、柔軟に対応いたします。
- ◆特別支援学校の公演では、子どもたちの感性に合わせて個別にやさしく指導します。
- ◆公演後は皆さんからの感想やご意見を参考にして継続的な取り組みに生かします。

別添 ※別添は1企画につき3枚までとします。※文字のポイントの変更は認めません。

リンク先

No.2

【公演団体名

邦楽グループ「玉手箱」

】

子供のための邦楽入門コンサート・パートⅡ

邦楽 歌ものがたり

～日本の伝統音楽を子供たちにつえるために～



●「玉手箱」と合奏する体験コンサート●

●プログラム曲の例●

●七福神（山田流箏曲古典）

箏・歌、三弦、浄瑠璃、尺八による「七福神」を歌った「華やかさ」と「粋」なところがききどころ。

●鹿の遠音（琴古流尺八本曲）

教科書に掲載されている古典名曲。

●祇園精舎（琵琶歌）

平家物語の始まりの部分を琵琶を弾いて歌います。

●ひぐらし（山田流中能島欣一作曲）

日本の季節を表現した現代邦楽の名曲。

●遊人夢・ゆうとむ（沢井比可流作曲）

創設者高田和子の委嘱によるロック調三味線曲。

●ワールド・トリップ（玉手箱のアンサンブル）

世界の国々で良く歌われている曲のメドレー。

●みんなで合奏してみよう

ワークショップで学習した曲を玉手箱と合奏。

■曲の間に楽器解説、曲目解説が入ります。

■曲目、曲順、の一部が変更することがあります。

▼みんなで合わせ練習



▼こむそう



▼花束贈呈



●好評の魅力の和楽器体験「邦楽入門コンサート」に続くパートⅡ。

●はじめて和楽器を「みる」「きく」「えんそうする」はもちろんのこと、パートⅡでは、邦楽の「うた」をとりあげます。

●日本のむかしの音楽をいまの子供たちにつたえ、新しい現代の邦楽も楽しんでもらえる体験コンサートです。



▲箏、十七絃の解説



▲三味線とハチの解説



▲めずらしい琵琶の演奏



▲子供と先生と近所の方と合同演奏

●邦楽グループ「玉手箱」●

国際的な活躍で知られた邦楽奏者高田和子氏が、東京芸大出身者の若手演奏家を中心に集めて、あたらしい日本の邦楽を日本の子供たちに、世界に広めようと結成されました。

●おもな出演者●

清野さおり（箏・三味線・十七絃）

小間夕起子（箏・三味線・十七絃）

田中奈央一（箏・三味線・十七絃）

山本啓代（箏・三味線・十七絃）

長須与佳（琵琶歌・尺八）

清野樹盟（尺八）

※都合により変更することがあります。

■企画制作 ■株式会社アート・メディア・オフィス

